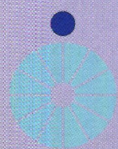


文部科学時報

文部科学省 編集



文部科学省

MEXT

MINISTRY OF EDUCATION,
CULTURE, SPORTS,
SCIENCE AND TECHNOLOGY - JAPAN

特集

① 知ってますか？ 地震研究フロンティア
 ② 人と本をむすぶ 新しい図書館司書



巻頭インタビュー

モーグルスキーヤー

上村愛子さん

「バンクーバー五輪へ向けて」

文部科学省 編集

CONTENTS

1 巻頭インタビュー

上村愛子さん モーグルスキーヤー
「バンクーバー五輪へ向けて」

特集1

10 知っていますか？ 地震研究フロンティア

文部科学省研究開発局地震・防災研究課

11 新総合基本施策の概要

◀ これまでの成果 ▶

15 地震動を予測した地図の作成

18 緊急地震速報の概要 ▶ 気象庁地震火山部

◀ 将来に向けて ▶

21 新しい「地震瞬時速報システム」の開発 ▶ 独立行政法人防災科学技術研究所

22 国民に役立つ災害情報の共有化 ▶ 独立行政法人防災科学技術研究所

24 地下構造のミュオグラフィー ▶ 田中宏幸

26 マイクロ地震計の開発 ▶ 浅沼宏

28 防災教育支援推進プログラム

特集2

30 人と本をむすぶ 新しい図書館司書 図書館法施行規則の改正

文部科学省生涯学習政策局社会教育課

33 大学における司書養成の改革 ▶ 兼袋秀樹

36 司書の資質向上 ▶ 二宮嘉須彦

39 公立図書館の司書だから必要なこと ▶ 吉田真弓

34 省令科目の改正と司書の資質向上 ▶ 平野英俊

37 司書講習の取組 ▶ 三浦太郎

連載 文部科学省FLASH

40 学校を支える地域の力 和歌山県紀の川市

42 進む大学教育改革 名古屋造形大学／東京工業大学

46 フロンティア 先端技術開発 進化する南極観測

◆クローズアップ

48 ①「子どもの携帯電話等の利用に関する調査」の結果

52 ②「幼児教育の無償化について」

60 ③ 子どもの読書活動推進フォーラム

62 ④ 平成21年春の叙勲・褒章伝達式

64 NHKデジタル教材マンズリー・ガイド

ひょうたんからコトバ 小学校3～6年 国語

65 青空REPORT 南利幸さん

66 自然に学び仲間と笑う 国立赤城青少年交流の家

68 NIER(国立教育政策研究所)レポート 高校と大学の教育接続

70 海外最新科学技術情報 各国における海外研究人材獲得政策の動き

72 海外最新教育情報 イギリス／ドイツ／オーストラリア

74 おしえて！サイエンス 人間とコンピュータのあいだ

76 Privateの学習環境 玉川大学小原國芳記念教育博物館／

財団法人得愛会松本記念児童図書館

78 国立美術館・博物館研究員は語る 九州国立博物館／奈良国立博物館

80 鑑賞席 光 松本陽子／野口里佳(国立新美術館)

81 未来技術遺産ARCHIVES 噴水型飲料用自動販売機

◆MEXT information

82 平成22年度科学技術分野の文部科学大臣表彰受賞候補者の推薦

83 DIGEST

84 動物の赤ちゃん ホッキョクグマ(札幌市円山動物園)

表紙 フォトグラファー／イザワトシオ

国立赤城青少年交流の家

赤城の森からはじまった 青少年自立支援の全国ネットワーク

平成20年度特別事業

「青少年自立支援者のための研究交流フォーラム」

——体験から学び主体的に人生を生きることをめざす支援

眼下に関東平野を望む雄大な上州赤城の山懐に抱かれ、標高500mに位置する当所は、国立7番目の施設として昭和46年に開所しました。

年間約12万人の方々が利用しており、本年4月には、延べ宿泊者数が300万人に到達しました。

「青少年自立支援者のための研究交流フォーラム～体験から学び主体的に人生を生きることをめざす支援～」は、さまざまな要因で社会と上手にかかわれない青少年に対して、社会の中で、よりよく、自分らしく生きることができるよう、日々支援しているの方々を対象に、支援者としての資質向上と支援方法のスキルアップ、支援者間のネットワーク形成を目的に、平成21年2月13日から15日に開催したものです。学生や社会人等、124名の方々にご参加いただきました。

ナイトセッションでのネットワークづくり



自然に
学び
仲間と
笑う

文部科学省
スポーツ・青少年局 青少年課



活動発表では有志が熱弁

よいものを——実行委員会を組織
一口に自立と言っても、不登校・ひきこもり・ニート等の非社会的問題行動者の自立、家庭内暴力・学校内暴力・青少年犯罪等の反社会的問題行動者の自立、先天的な疾病・発育発達障害等障害者の自立等、実に幅広く多岐

にわたっています。
このため、本事業を進めるにあたっては、大学の研究者、自然学校の校長、社会福祉法人の理事長等で構成する「実行委員会」を組織しました。自立支援に関する当所のこれまでのノウハウの蓄積に、さらに多分野のさまざまな専門家の意見を踏まえ、当所の思いや意図が反映された質の高い事業となることを意図しました。

進む方向は？

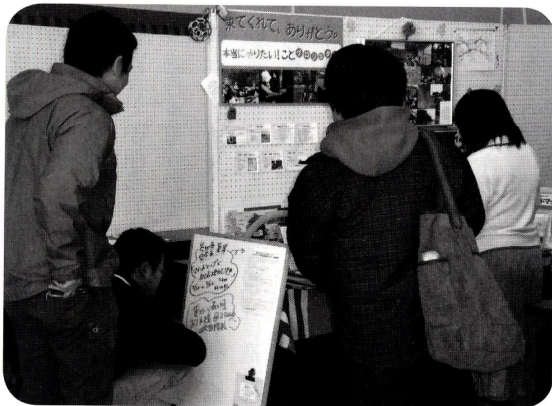
——第1期5か年計画の策定
継続した事業展開により確実な成果を得るため、「第1期5か年計画」を実行委員会で策定しました。

5か年の具体的なねらいは次の5つです。

- ① 発達障害（児）者・社会不適応者・一般青少年の自立支援者の資質向上、支援方法のスキルアップ
- ② 団体間・個人間のネットワーク形成
- ③ 総合的な支援活動の充実（複数の団体や個人による連携指導）



分科会でワークショップに取り組む参加者



ポスターセッション

④学校・社会教育施設等への普及・啓発
 ⑤自然体験活動及び生活体験活動のプログラム開発
 5か年を、「推進期(3年)」と「充実・発展期」(2年)に分け、5年後には、第1期の総括および第2期5か年計画の策定という見通しをつけました。
どのようなことをしたの??

事業プログラムの概略

2人の講師の対談形式のオープンングセッションでは、教育、福祉、臨床心理、精神医療等、さまざまな領域の関係者が、連携・協働することの重要性、そして、このフォーラムから全国各地

でそのような協働関係が生まれるよう、全員で確認することができました。
 事業2日目は、午前・午後ともに5分科会に分かれ、支援領域別の支援方法等について協議しました。分科会ごとに2~3名の講師を配置し、参加者は自由に分科会を選択し、参加しました。

分科会に関して参加者から、「抱え込みから連携へと言われながらも、連携先や連携方法等についてよくわからない部分があった。このフォーラムで学んだことや人とのつながりを今後活かしたい。(学校教諭)」「暗中模索の毎日でしたが、まさに求めていたもの

でした。ステップアップした自分を感じています。(保護者)」「さまざまな実践を知りました。自分の支援方法の問題点も明確になりました。(大学生)」等、さまざまな評価をいただきました。

つながる場が広がります

ネットワーキングのための仕掛け

仕掛けの一つに「ナイトセッション」がありました。立食パーティー形式の夕食では、講師を含め、全員が、飲食をともしして自由に情報交換を行いました。会場内のあちらこちらで熱心に話し込む姿が見受けられました。

また、「活動発表」や「ポスターセッション」では、有志の方が、平素の自立支援の取組を全員で紹介することで、参加者同士のつながる場と情報の共有化を促進することができました。
今後の課題は何??

最終日の全体会と「ふりかえり・まとめ」の中で、今後取り組むべき課題5項目を明確にし、全員で確認できました。

①自立支援を必要としている多くの者は、環境に対して不適応を起こしている。彼らを取り巻く自然環境や社会的環境の問題

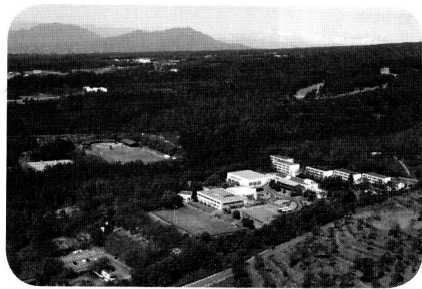
②自立支援を必要としている者の現状と実態を、社会全体が理解し受入れる体制づくり

③自立支援法等、法律に基づいた適切な支援方策

④食育・特別支援・更生等々、自立支援のためのさまざまな教育方法や特徴
 ⑤自然の法則性(発達段階)に応じた適切な支援

なお、平成21年度「青少年自立支援者のための研究交流フォーラム」は、平成21年12月4日から6日まで、当所を会場に開催する予定です。

(企画指導専門職 小野義孝)



独立行政法人国立青少年教育振興機構
国立赤城青少年交流の家
 群馬県前橋市富士見町赤城山27
 027-289-7224 <http://akagi.niye.go.jp/>



△は、赤城の山と、青年の「家」をかたどり、同時に青年の向上心を表しています。AはAkagiのAです。
 ○は、赤城の地から展望した首都圏を意味するとともに、青年たちの友情にみちた連帯と和を示しています。

衛生的で子ども達にも使い易い

ののじ

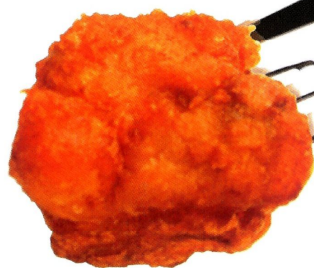
新しい学校給食用調理・食器具



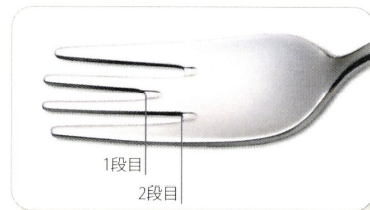
モノ創りに、感性に
そして自然にも
「素直な道具」を
基本にしたデザイン。

素直

刺す、絡める、すくう、
3つの機能を素直に見つめました



から揚げをフォークでグサリと刺した時、深く刃に刺さってしまっても食べにくい、と思ったことはありませんか？
このスクールフォークはパスタなどの絡めやすさはそのままに、刺し部を2段にすることで刺さり過ぎを防止しました。
その上、スプーン状の部分で細かい具をすくうことができる、欲張りなフォークです。



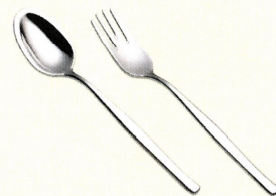
学校で試してみませんか？

「素直」カトラリー
スクールスプーン
&
スクールフォーク

体験貸出し制度 実施!!

この度、「素直」カトラリー・スクールスプーン、スクールフォークの完成記念として、無料貸出しを実施いたします。一般のランチルームでの人数分を目安としています。
対象は、小学校もしくは中学校での給食時使用とさせていただきます。詳細のご相談につきましてはお気軽にお問い合わせください。

お申込み
ご相談は ☎ **045-317-5201** ののじ学校給食担当まで



「素直」カトラリーシリーズ
スクールスプーン スクールフォーク
全長：174mm 重さ：約35g(軽!!)
各380円(税別)

ののじは「高品質」「思いやり加工」
18-8ステンレスを使用し、フォークの先端まで丸めた安全設計。
また柄の部分は3mmの素材を使い、持ちやすいように丸みをつけています。

ののじ Humane Ware 素直 は、株式会社レーベン販売の商標です。



〒220-0004 横浜市西区北幸 2-8-19 横浜西口Kビル 4F
Tel: 045-317-5201 Fax: 045-317-5903
URL: <http://www.nonoji.jp>



すなおな道具創り、
学校給食用食器具
デザインの総合的な活動

2009年新カタログお送りします。
ご請求は 電話・FAX・メールで
お気軽にどうぞ。